

Tokai Fubokon Letter

2023年度 第2回幹事会(9/2)



9月2日(土)、東海の28地域の世話人さんを中心に約100人が講堂に集まり、東海父母懇『第2回幹事会』が開催されました。

冒頭に父母代表・教員代表が挨拶を行い、地域幹事の皆さんに、サマーセミナーへの参加、地域懇開催にご尽力頂いていることなどへのお礼を述べ、4年ぶりとなる東海父母懇忘年会へのお誘いをしました。

そして、父母懇学芸部から10月8日(日)に開催予定の「バスハイク in ふじのくに 大井川鐵道の旅」のご案内があり、その後、知多地域の活動報告や紺野一弘先生(中学社会科)の講演が行われました。

【地域からの報告】

西知多地区窓口さんから、幹事会恒例の地域の取り組み発表が行われました。冒頭で西知多地域の規模感を伝えていただき、その後2023年度上半期の活動の様子をスクリーンに写真を映しながら報告してくださいました。5月に行われた春の新生入父母歓迎の地域懇では、ゲストに教員・卒業生だけでなく、卒業生父母に来てもらったこと、知多市の勤労会館で開催できたこと、初夏のつどいの時には、ランチ会と合わせて開催するとい



う温かい心遣いの工夫が紹介されました。さらに、9月にも卒業生父母を呼んでランチ会を予定していると告知されました。どの写真も地域担当の杉浦先生を囲んで、アットホームで楽しそうな雰囲気がよく伝わりました。

【癒しのピアノ演奏】

その後、中学音楽科非常勤講師の西岡雄太先生によるピアノ演奏、ショパン:ポロネーズ第6番変イ長調 作品53「英雄」が披露され、参加者の皆さんに優雅なひと時をお届けしました。幹事会の感想アンケート



の中にも「西岡先生の演奏が大変素晴らしく心に残りました」など多くのコメントが寄せられました。

【紺野一弘先生の講演】

私学助成に関する秋の運動について、今回は紺野一弘先生に「東海の教育を支えている愛知の助成金と皆さんにお願いしたいこと」というテーマで講演していただきました。

初めに、「東海中高は助成金が必要なのでしょうか?」という問いかけから始まり、今年1月に実施した父母アンケートの結果を振り返りながら、「今の学校に入れてよかった」が中高とも9割を超える一方、「学校に望むこと」の項目では「私学の学費が高すぎる・もっと授業料を安くしてほしい」が高校で1位、中学で4位に入ることが紹介されました。また「このような生徒・父母アンケートでの回答結果や、地域懇における



父母との懇談の中で出た声を大切にしています。父母の要求に応えるために助成金制度があり、いい教育環境や教育制度を作っていくことが重要」と話されました。

【公立と私立の助成金格差】



昨年度のオータムフェスティバル

次に、愛知の助成金制度の説明として「助成金は、①経常費助成と②授業料助成の2つがあり、教育に必要な経費の2分の1を助成することを原則とし、高校で1人あたり35万4027円、中学で1人あたり32万9475円が助成され、保護者の学費負担の軽減にできるだけつながるようになっている。近年は生徒1人あたり4000円前後増額されているが、これは私学助成運動の賜であり、1999年に大幅カットされた時もあったが、長年にわたる助成金運動により以前の水準を超える助成へとつながっている。もう一つの②授業料助成は、世帯収入により受給額が異なるが、2020年に年収720万円未満世帯で授業料および入学金が無償となるところまできた。経常費助成も720万円未満世帯無償化も、40年以上におよぶ県への請願署名とオータムフェスティバルなどで県会議員に私学助成増額を訴えてきた結果ではあるが、公立高校では910万円未満世帯まで無償化となっていて、公私格差がまだまだ残っている。「私学は学費がかかるのが普通では？」と思われるかもしれないが、憲法第26条や教育基本法第6条、子どもの権利条約第28条で謳われているように、公立も私立も同じ公教育で、誰しものが等しく教育を受けられるような環境・制度整備が求められている」と語られました。

【秋の私学助成拡充運動へのご協力をお願い】

そして、紺野先生は、私学助成の拡充をすすめる秋の運動として、①国への請願署名へのご協力、②オータムフェスティバル各会場への参加、③ビッグフェスティバルの運営協力券の普及へのご協力の3つを

お願いされました。

最後に「9月23日・24日に記念祭があるが、部活動やサタプロなどの自主活動も大切な学びで、学校には教科書のことを学ぶことだけではない、社会に繋がる大きな学びがある。子どもの明るい未来を支えるのは大人の務めです。東海の教育を支えている助成金についても理解していただき、東海の生徒だけでなく、他の学校や全国の子どもたちが充実した教育を受け、彼らがこの国の未来を支えていく応援をお願いしたい」と締めくくられました。

その後は4会場に分かれて分散会が行われ、意見交流や秋



に向けての情報共有ができました。長時間にわたる会となりましたが、参加された父母の皆さんの反応はとても良く、たくさんの前向きな感想が寄せられましたので、以下にその一部を紹介します。

【参加者された皆さんの感想】

- 紺野先生の説明が大変わかりやすく、ぼんやりしていた助成金の仕組みがよくわかりました。
- 分散会では各地域の近況報告など参考になる話が多く大変為になりました。西岡先生のピアノもとても素敵でした。
- 分散会で他地域の活動についてお話を伺うこの機会が大変貴重だと感じます。話しやすいように会を進めてくださる先生と事務局さんに感謝いたします。
- 他地域の活動内容を詳しく知ることができたので参加できてよかったです。
- Google フォームの作成方法の資料配布ありがとうございました。参考にさせていただきます。
- 紺野先生のご講演で父母懇の存在意義を理解しました。この講演は入学式やもっと早くにやっていただけたら良かったと思いました。初夏の集いなども、東海父母ばかりの出席が目立ち、少しモヤモヤした気持ちになりましたが、東海は代々、積極的に活動している歴史があることが

分かり、納得できました。先生方や事務局様のこれまでのご尽力に感謝しております。

- 今回初めて幹事会に参加し、父母懇活動の意義が理解できました。これからは「誰かが何かの活動してるらしい…」ではなく、自分のこととして活動に参加していきたいと思いました。
- 初めて参加しましたが、他の地域、学年の事を知ることが出来、勉強になりました。また、適度な人数だったのも、話しやすくて良かったです。

バスハイク in 大井川鐵道



10月8日(日)に第2回文化講座「バスハイク in ふじのくに 大井川鐵道」が開催されました。今年はSLに乗って、壮大な大井川の流れ、自然のままの趣ある風景をお楽しみいただくプランをご用意いたしました。

早朝集合にもかかわらず、バスは定刻通りに名古屋駅を出発。行きの車内では、太田正和先生による脳トレ「輪ゴムで星を作ろう!」や、岡本憲幸先生による静岡の地理・歴史クイズで、大いに盛り上がりました。そして、バスは最初の目的地「ふじのくに茶の都ミュージアム」へ。皆さまそれぞれの場所で、茶道体験をしたり、抹茶パフェを食べたり、おしゃべりに花を咲かせたり、思い思いの時を過ごしていました。

その後、日本料理店「和重」へ移動して、美味しい料理にさらに会話も弾みました。さて、いよいよSLに乗車します。運良く機関車トーマス車両も見ることができ、一同SLの中へ。車内は 何とも言え



ないノスタルジックな雰囲気、非日常の空間にとっても癒されていたのも束の間、途中「合格駅」という駅があるのですが、皆さま我が子の合格を願うスマホ



を構える中、あつという間に通り過ぎて行った合格駅に大爆笑。一瞬のことで誰も写真に収めることはできませ

んでしたが、本日一番の盛り上がりと一体感を感じて、心から楽しいと思えるひとときを過ごしました。

今回のバスハイクにご参加くださいました皆さま、学芸部一同心より感謝申し上げます。また皆さまにお会いできるのを楽しみにしております。



ふじのくに 茶の都ミュージアムにて

【参加された皆さんの感想】

- ★最高な企画をしてくださった父母懇役員みなさんに感謝です😊
- ★父母懇企画に参加できるのもあと2年半。楽しい東海ライフも残りわずか。お礼に署名も頑張るわね!
- ★めっちゃ楽しかったから泊まり旅行も企画して欲しい
- ★父母懇役員の皆さんの「おもてなしの心」に触れて、楽しい時間を過ごせました。
- ★最初は心細かったのですが、日頃の不安やモヤモヤが晴れ、本当に参加してよかったと心から思いました。

編集後記

「秋」と言えば、食欲や運動、読書などがあります。皆さんの「秋」はなんでしょう?東海中高父母懇では、「秋」と言えば署名運動の「秋」なのです。先人たちの思いを引継ぎ、これからを担うこともたちに夢や希望が持てるような環境をいち大人として作っていかれたと思います。

ちなみに我が家では息子のことを「これからの人」、そして主人と私は「これまでの人」、なんて時々自虐的な会話が繰り広げられています。(笑) 広報部